

に建議資金を寄附し、又博文敎職工の共働社組合員に対しては物品の配給を継続して行つた。

柳ヶ澤文敎共働社の前身は、會社が従来共済部の事業として物品供給部を設け従業者の便宜を備ふる為め設立されたものであるが、大正十三年五月の争議以来之を独立して職工の自治的管理に移さんとする運動起り工場協議員會は之を認め同年五月未有限責任購買組合博文敎共働社として成立したものであつて、商品及流通資金として金七千円を無利息貸付し尚職工に対する掛賣金回収の便宜を計る事をして居た。

會社幹部と職工側代表とは昨年争議の際三月十六日會見會社側は「購買組合共働社に三十万円賤区消の方法にて貸付けたる金七千円は寄附するを以て共働社を解散すること」を回答したるに、職工側は之を絶対解散せずと反駁し、為めに會社は共働社の件を撤回し亦未組合員はその當時(八〇〇名)に比し遙く少数にはなつたが目下回復策に汲々として居る。因に該組合長は出版労働組合の高田幸松である。

聯盟所は労働者同盟の代表的なる組合の概況をのこ通り
東京共働社(大正一五年六月末現在)

貸借對照表

貸		借	
方	方	方	方
拂込消出資	一八四三、九八〇	出資金	七八四〇、〇〇〇
預金	一〇九八、八七〇	借入金	六〇五〇、〇〇〇
建物	四、四七八、九三〇	準備金	六五五、〇〇〇
什器	一、三四九、六八〇	特別積立金	五六七、八七六
現金見積高	三、七一六、一四〇	仕入未拂代金	五、二六三、四九二
賣却未收	七、一六六、四二五	聯盟出資未拂	三、〇〇〇、〇〇〇
聯盟出資	四、五〇〇、〇〇〇	中央金庫	八三六、二八〇
中央金庫	八、二〇〇、〇〇〇	出資未拂	一、二三九、〇〇七
現出資	一〇五、九六〇	今期剩餘金	
計	二五、四五、九八五	計	二五、四五、九八五

損益計算表

利益ノ部

損失ノ部